

それじゃあ

今夜は
いっぱい
エッチできるね
お父さん

ありがとう

Presented by

兩山電信

これは過ちではない！
父と娘の情事！

お父さんは
真面目な人
だから

お母さんが
生きていれば
決して娘なんか
手を出したりは
しなかったらう

///r...♡



あんな胸の大きく開いたタンクトップ!

えへへ お父さんゲームの間もずっとチラチラ谷間見てたもんね?

ずるいよ! あんなの集中できるわけないだろ!!

クニクニ

クニクニ

プニプニ

クニクニ

クニクニ

プニプニ



クニクニ

クニクニ

プニプニ



ダメだよ やつと禁煙できたんだから...

ん...っ タバコくさい



勃ってる

カリカリ

プニプニ

プニプニ

プニプニ





お尻の周り
少し毛が
生えてきてるね

どれ

美味しいよ
貴子の肛門

少しいきんで…
奥のひだの
部分を
抜けてごらん



あっ♡

あっ♡

あぁっ♡



あっ♡
あぁ♡
おちんちん♡

入ってるっ♡
パパの太い
おちんちんっ

女の子は
思春期に入ると
父親のことが
「生理的」無理」
なるよスミ

だって
そっじゃないと
女の子が
一番初めに会おう
強くて優しいオスは
みな父親ということに
なってしまうから





あたしは「生理的に無理」にはならなかった

ただそれだけ

お父さん
だいすきっ♡

お父さんっ♡

ブツブツ

ブツブツ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ







こーもん
拡がっちゃうっ♡
パパのおちんちんの
かたちにな
るうっ♡

おっおっ♡
おっおっ♡
おっおっ♡

だめっ
ぬこ...ん...

いままに
出されたら...
あああっ

お…っ♡
お…っ♡
お…っ♡
お…っ♡
お…っ♡
お…っ♡

おにやかの
にやか…あ♡
いっぱい…
にやあ…あ♡

うん…♡
うん…♡
うん…♡
うん…♡

うん…♡
うん…♡

や…あ…♡

た…た…

た…た…

うん…♡

うん…♡

うん…♡

うん…♡

うん…♡

うん…♡

うん…♡



千千千



結局
ナカに
出したー



繋がりが合った父娘から目が離せない!!

まだちみっと
お尻ヒリヒリ
するなー

いやホント
すまないね
本当に

：服でも
買いに
行こうか

お母さんの
墓参りの
ついでにさ

えーっ まさか
モノでごまかす
作戦ですかあ

ふふっ
いっよ

千千

ありがとう
お父さん♡

千千

おしまい



父と娘の倒錯的偏愛物語!!

ありがとう

〜第2話〜

もっと私の中を
満たしてください……!!

Presented by 雨山電信



おふくろさん
亡くなって
もう七年か

うん…
親戚集めて
法事やるのも
これが最後かな



離ればなれに
なっちゃうの
かなあ

幼稚園のころから
ずっと一緒
だったのに



直くんもう
進路決めた？
進学？

剣道で推薦
取れるほどの
実力ねえからな
勉強しねえと





わたしにとって
二番目に大切な
人は誰かと
聞かれたら

わたしはきっと
それは直ぐんだと
答えるだろう



お母さんが死んで
二人きりになった
わたしとお父さんが
生きていくために

わたし達には
新しい家族が
必要だった
はずだった

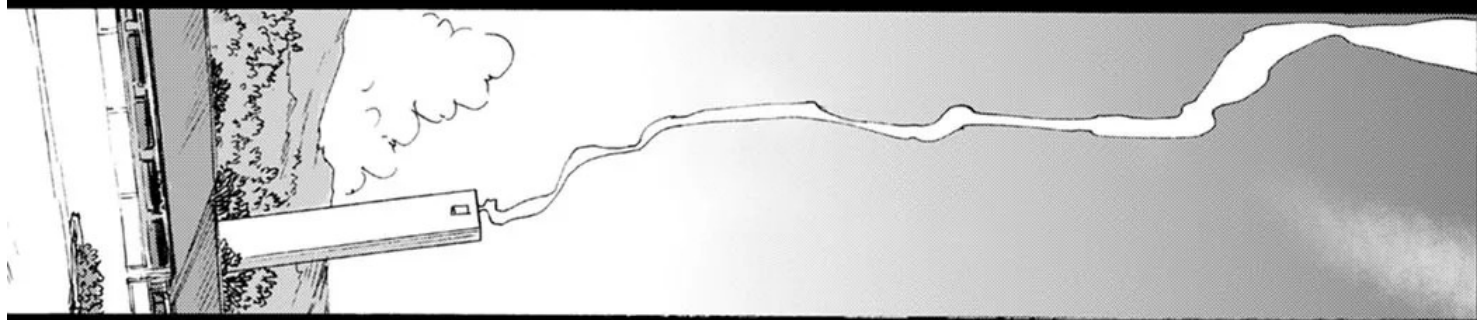
わたしがもう少し
小さければ
幼い娘のために
新しい母親が
必要だったろうし

わたしがもう少し
大人になっていれば
父は新しい恋人を
見つけていた
はずだろう



あの日から
ずっと
心の中で

直くんが
わたしの
お兄ちゃん





...とまあ
そういう
わけで



幼なじみの
直くと今度
うちで勉強会を
やることにな
りました

たぶんその場で
つき合ってくれーとか
そういう事を
言われるんじゃないかと
そんな気がしています

ピチャ
ピチャ



いいじゃないか

直樹君なおきだろ？
よく知ってるよ
好きにすればいい



え~~~~っ!!

シシシ
シシシ



で…っでも直くんは
わたしとお父さんが
こういう事してるって
知らないから…っ!

そりゃ
そうだよ

まさか彼は
おまえの正体が
こんな変態だなんて
知らないだろうさ



ちよっどいい
機会じゃないか

貴子 おまえ
そのまま直樹君の
女になって
しまいなさい



やっ…!!
やだあつ

何が嫌なものか
父親とだつて
喜んで寝る
淫売のくせに

見てみる
肛門は嬉しそうに
チンポを啜えて
離さないぞ

こんな関係
幸せになれる
はずが
ないんだから

ぼくが地獄に
落ちるのは
構わないけど
貴子を巻きぞえに
するのは御免だね

それにしても
本当にお尻で
感じるように
なったねっ

ほらっ！
引っ張り出すとき
もの欲しそうに
食いついて
くるよっ

お尻

お尻

お尻





最近
忙しいって
今日も夜まで
帰ってこないよ

親父さん
仕事は？

いらっしやい
直くん



ガチャ



待ってねいま
お菓子とジュース
取ってくる
から…

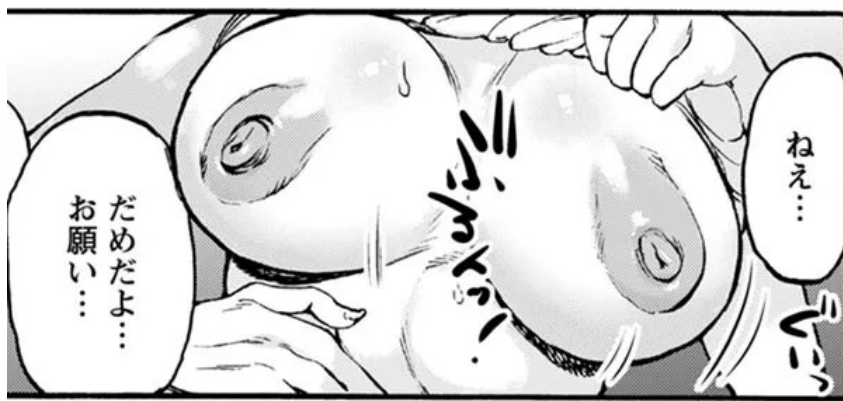
直くんが
部屋に来るの
久しぶり

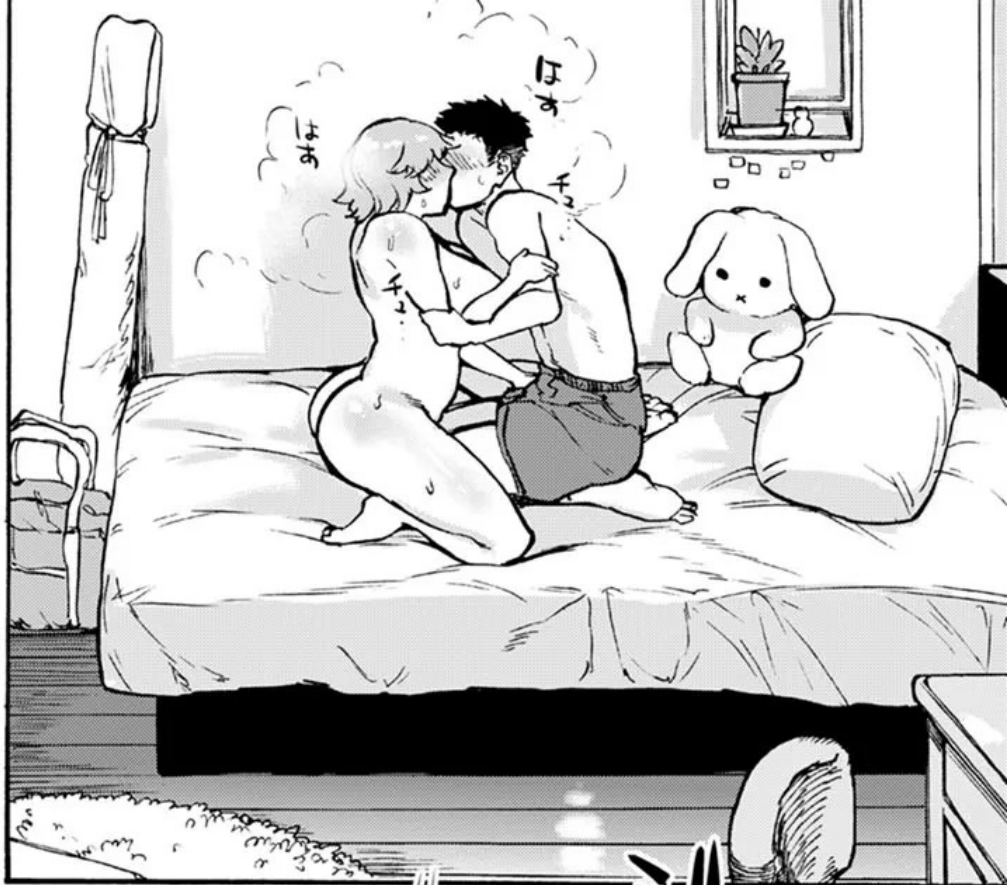


ぐっへっへ
こりやあもう
どう考えても
エッチなことする
流れですぜ

やめろ
マジで







バシたら
お父さん
刑務所かな

いすれにしろ
絶対に一緒に
暮らせない



「こんな関係
幸せになれる
はずがない？」

分かってるよ
そんなの

分かってて
お父さんは
わたしを
抱いたんじゃ
なかったの？



直くんの...
お父さんの
じゃない
おちんちんが...



あ...
うん...
あ...
うん...

あ...
うん...

あ...
うん...

あ...
うん...

あ...
うん...





直くんっ♡

直くん
直くん
直くんっ♡♡

あ~~~~それえ♡
それ気持ちいいっ♡
お腹ん中ごりゅごりゅ
響いて……ええっ♡

ずっとずっと
仲良しだった
幼なじみの
男の子の……っ！

太くて硬い
おおきな
おちんちん……っ♡

あ~~~~それえ♡
それ気持ちいいっ♡
お腹ん中ごりゅごりゅ
響いて……ええっ♡

あ~~~~それえ♡
それ気持ちいいっ♡
お腹ん中ごりゅごりゅ
響いて……ええっ♡



あっ♡

はあっ♡

はっ♡

あっ♡

はっ♡

あ~~~~それえ♡
それ気持ちいいっ♡
お腹ん中ごりゅごりゅ
響いて……ええっ♡

あ~~~~それえ♡
それ気持ちいいっ♡
お腹ん中ごりゅごりゅ
響いて……ええっ♡



ズン

ズン

ブッブッ

ブッブッ

ブッブッ

ブッ

ブッ

ブッ

ブッ

ブッ

ブッ

ブッ

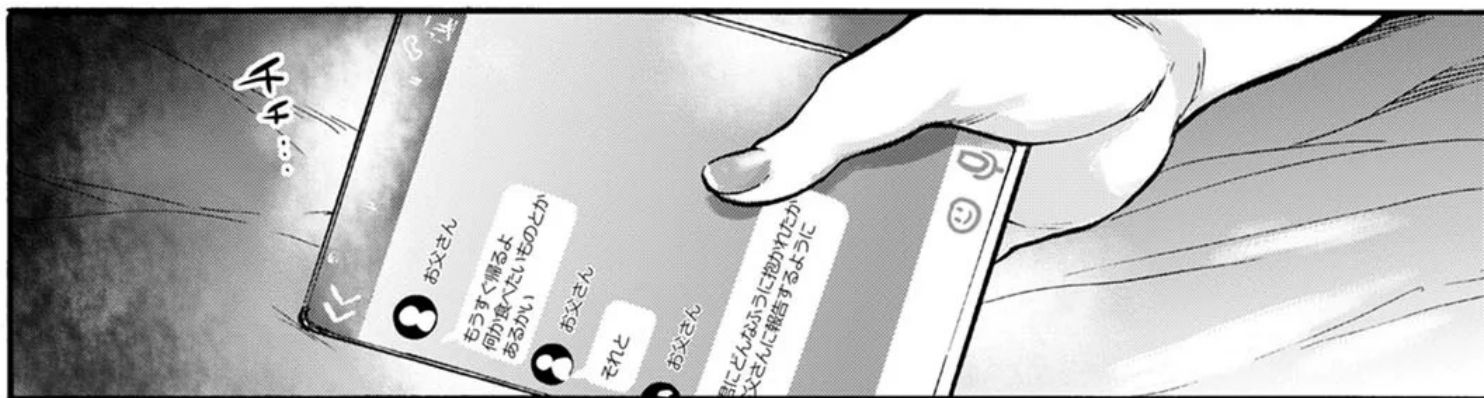
ブッ

ブッ

ブッ

ブッ

ブッ



雨山電信濃厚SEXカラー!!

『ありがとう』♡

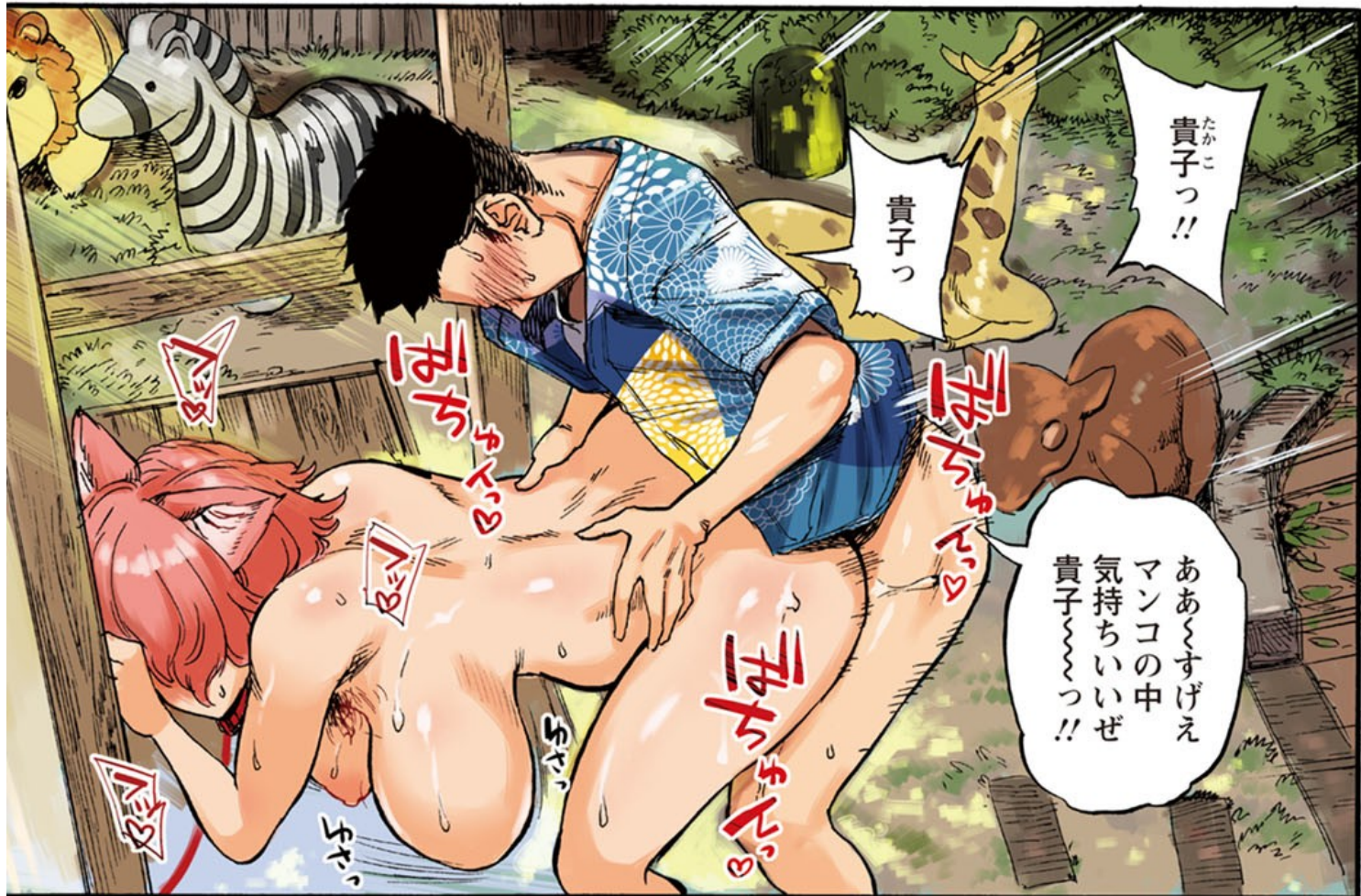
ハアッ

ハアッ

ハアッ

♡ハアッ♡

♡ハアッ♡



たかこ 貴子っ!!

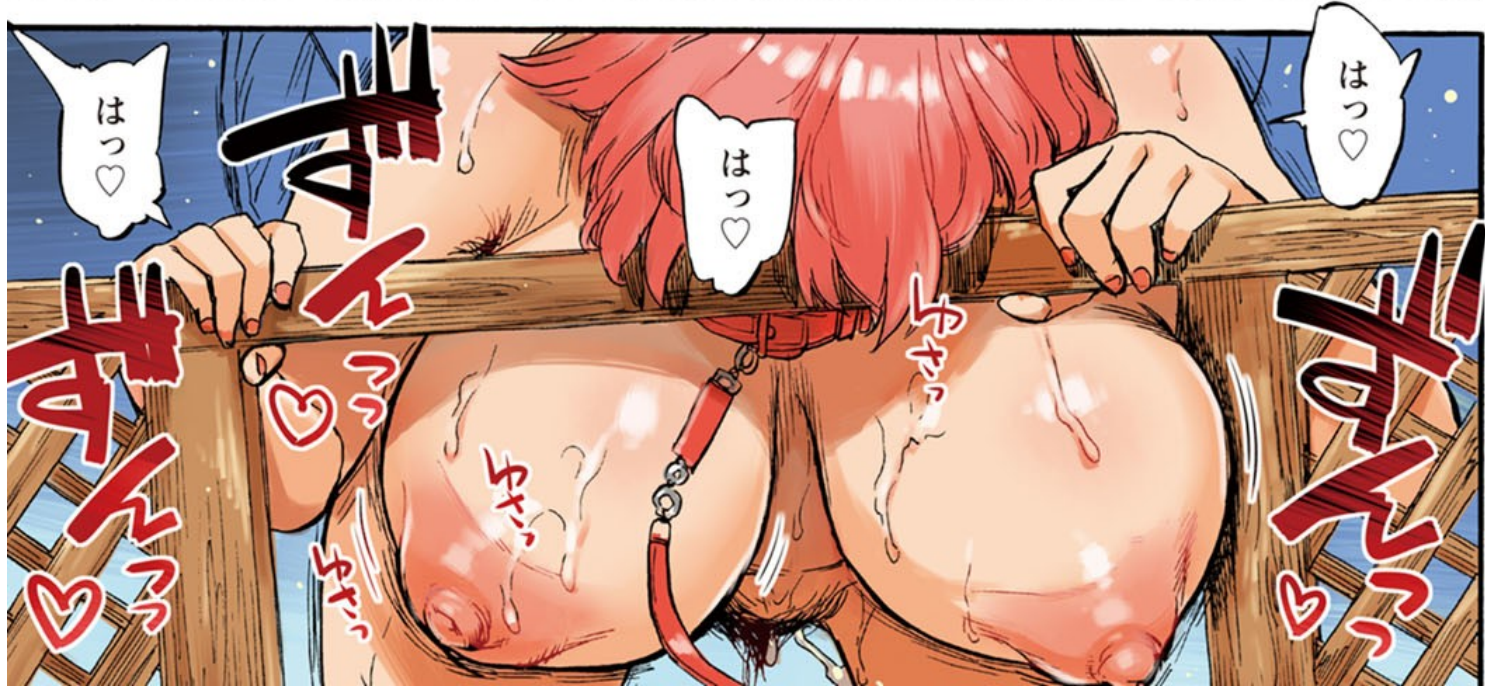
貴子っ

ああくすげえ
マンコの中
気持ちいいぜ
貴子~~~~っ!!

♡ハアッ♡

♡ハアッ♡

♡ハアッ♡



はっ♡

はっ♡

はっ♡

♡ハアッ♡

♡ハアッ♡

♡ハアッ♡



ふ~~~~っ
すっげえ出た…

貴子も
気持ち
よかったろ？

うっ…
うん…♡



来ねえよ
こんな所

まだ朝も
早いしな



もう…
駄目だって
言ったのに…

人…
来ちゃうよ
こんな所で…



貴子だって
外でヤルの
興奮してん
だろ

なに生意気
言ってるだよ

乳首もこんな
シコってんじゃ
ねえか♡

ちよ…ちよつと
休ませて…♡

ま…まあね
でも

よーし貴子
もっと奥の
人の来ないところで
もう一回戦いこうぜ

まっ待って
直くん…♡

わたし…腰が
抜けちゃって…

ああんっ♡
そんなおっぱい
ギユツって
引っ張らないでえ♡



それぞれの思惑が渦巻くなか、歪んだ三角関係の行方は……!!

お~~~~っ

たかこ
貴子
似合うなあ
そのカツコ

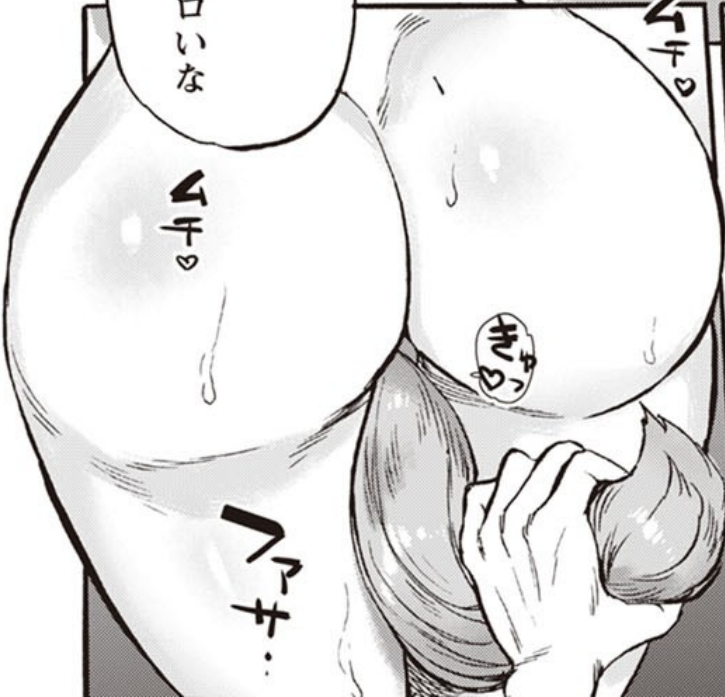
ありがとう

第3話

Presented by
雨山電信

うくん
こりや
下品でエロいな

ケツの穴にも
しっぽブラグ
入ってんのか





汗でしょっつぽさ
直くんのおちんちん

お父さんとは
違う味にも
もう慣れた



お父さんに
ちよっと
思い知らせて
やるのだ

許すか
んなこと



お父さんは
もうわたしに
指一本
触れようとしない

やだねー
このままわたしと
直くんがくっつけば
普通の親子に
戻れると思ってたんだ



SUB: お父さんへ



夏休みに入って
わたしと直くんは
グチャグチャに
やりまくってます♡

毎日すっごいの
わたしもう頭の中
真っ白になるまで
何度もイカされて



オラッ!

出すぞっ!
そのまま
マンコ締めろッ

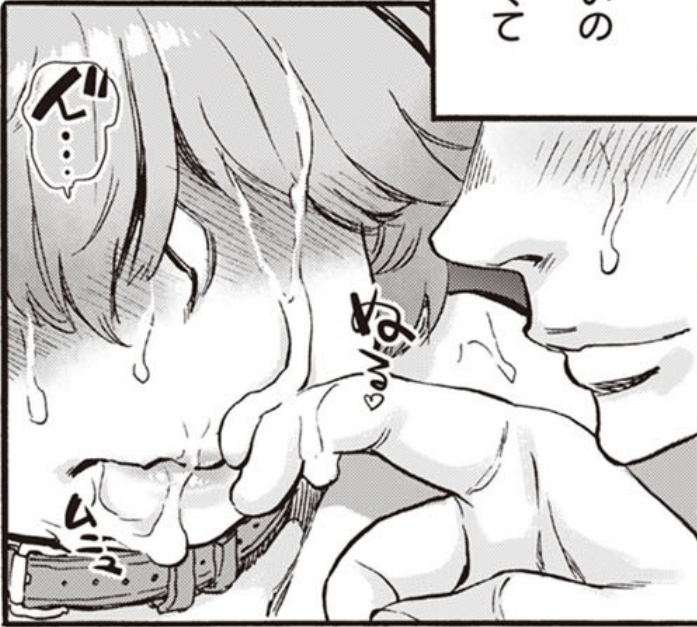
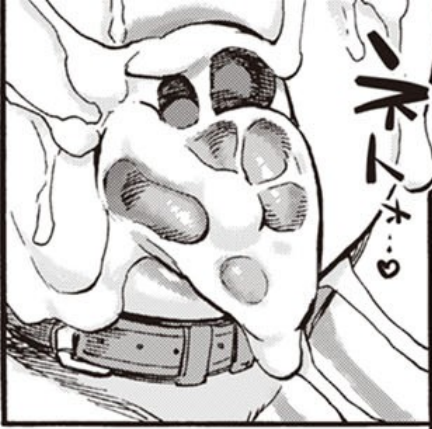
飲んでっ
飲んで
貴子っ!!



クチ
開けろッ



精子も
すっごく濃いの
苦くて全然
飲み込めなくて



きたないよんも
はずかしいよんも
せんぶくせちんも
ほじくわん。



ゴムなんて
つけてないよ

だって
そっちのほうが
気持ちいいもん



直くんも
喜んで
くれるし

直くんが
喜んでくれたら
あたしも嬉しい

おんっ♡♡
おんっ♡♡



直くんに
なかだしの
腔内射精されたの
いつぱい垂れて
きちやった♡

すごい濃い♡
元気な精子ちゃん達
あたしのお腹の中で
ウヨウヨ泳いでる♡



おっ 自撮り?
エロいね

えへへ♡
あとで直くんにも
送ってあげるねー



貴子:
イエ〜イ☆
生中出しましたよ〜



はい
もしもし

え？ ああはい
お世話に
なっております



娘は：
貴子は少し
体調を崩して
おりますて…

ええ ええ
元気になれば
すぐに登校
できますよ



ありがとう
by 兩山電信

父と娘の倒錯的偏愛物語!!

Presented by 雨山電信

ありがたじゅう

第4話





ダメダメ
ちよつとやさつと
暴れたぐらいじや
外せないよ

もがけば
もがくほど
深く挿入って
いくからね



おつとまた
イキそうかい?

お父さんの
目の前で
貴子のイキマンコ
よく見せておくれ





少し水分
摂っておこうか

朝からずっと
拘束バイブで
ハメっぱなし
だったからね



その薬：
もう助からない人が
痛いのをごまかす
薬だよ

隠してたんだ
私にずっと
もうすぐ
死んじゃうって



…お父さん



もうすぐ
死ぬの？



まいったな
どこで
調べてきた？

いまは
スマホ
あるもん

カキヤ

写真撮って
質問箱入れたら
すぐに答えて
くれたよ



— すまない
最期まで
酷い父親だね

何かして欲しい
ことはないかい？
僕にできることなら
何でも言っごらん



そうだよ
父さんもう
助からない

もうすぐ
死ぬんだ
お前ひとり
残して



— じゃあ

それじゃあ
お父さん
わたし—







そうか
いいのか
避妊具は…

あ…



思い出しちゃった
お父さんと
はじめてエッチした
あの夜のこと

え？

覚えてないの？
お母さん死んで
何年もしてたからさあ
お父さんもゴムなんて
持ってなくて



だからさ

ちゃんと最後まで
責任
とってよね？



嬉しかったなあ
おふとんの中で
ぎゅって
抱きしめてくれて

ああいいんだ
お父さんのことを
好きになっても
許されるんだって
そう思えた



お父さん

貴子に
お父さんの
赤ちゃん
産ませてください



はあっ♡



はあっ♡



おとうさんっ♡

だいすきっ♡



ごめんなさいっ♡

どうして好きになっちゃったんだろうっ♡



きもちいいっ♡



おまんこのおくっ♡入ってるっ♡

いまっ♡おなかの中にお父さんがいるのっ♡





おっぱい
おっぱい

ちんぽ
ちんぽ
ちぎれちぎれ

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

ぜんぶっ♡

からだの
ぜんぶが
きもちいい♡

ググググ♡
ググググ♡
ググググ♡
ググググ♡

ググググ♡
ググググ♡
ググググ♡
ググググ♡

ホッ♡
ホッ♡
ホッ♡
ホッ♡

ホッ♡
ホッ♡
ホッ♡
ホッ♡

来てっ♡

もっと♡
深くっ♡

あたしのなか
めちやくちやに
カキまわしてっ♡





イグのくるっ♡
すっごいの
あがつて
きたあ♡

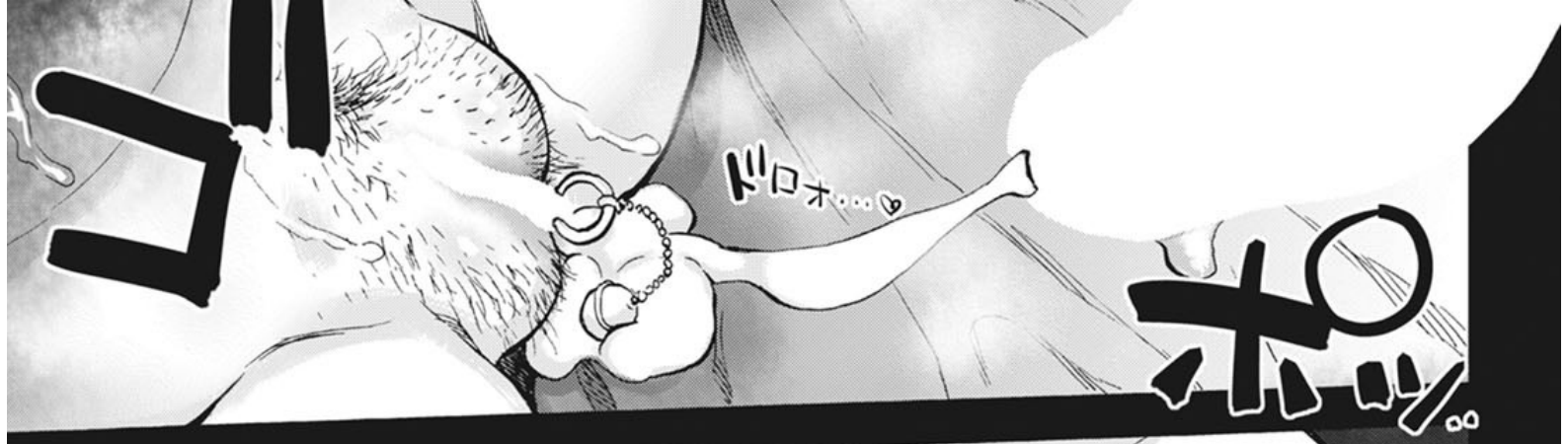
きたっ♡きたっ♡

おっ♡

おっ♡おっ♡

おっ♡





♡...ポン♡

ポン



♡...ポン♡

♡...ポン♡

ポン

お父さん——



ありがとうございます
お父さん——



お父さん——



ひどいもんだよ
色んな大人が
寄ってたかって
他人のセックスのこと
聞いてきてさ

千千千千...

やれ虐待だ
カウンセリングだって
そっちはいいよね
もう何も答えなくて
いいんだもん



千千千...



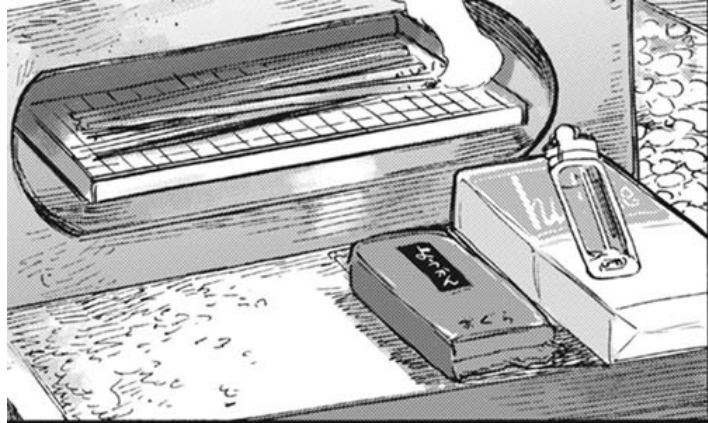
悪い
遅くなった

水入れる桶が
見つからなくてよ



結局
妊娠して
なかったよ

そう簡単に
ヤレばデキるって
もんでもないね



わたしはこれから
直くとよろしく
やっていますので

お父さんは
たっぷり地獄で
近親相姦の罪を
反省して下さい



知ってた

相談はずっと前から
受けてたんだよ
親父さんからな



でも本当に
よかったの？

あ？
なにが

言いたくないけど
わたし結構
やばい女だよ？
自覚症状ないけど



そういつ
わけで

わたしは
これからも
元気に
やっつけていきます

帰ってすぐ
やりたく
なっちゃまったのは
分かったからよおっ

なあ貴子っ
せめて
仏壇の前ってのは
やめようぜっ

ああ~~~~っ
出るっ 出るっ
飲んでっ
精子飲んで貴子っ

ああくクソっ
すんませんっ
親父さんっ
お袋さんっ

許されることは
ないかも
しれないけど

お父さん お母さん
どうか空の上から
私たちのこれからを
見守っていて
ください

END